

春のトラックレース・グランプリ大会の初戦である金栗記念大会が熊本県で開催され、3名の選手が出場し、好タイムを記録しました。

1500mに出場した田村選手は自己記録まであと3秒となるタイムでゴールし、7月の日本選手権に向けて良い流れを作る好走を見せてくれました。

5000mに出場した鈴木千晴選手は2020年に出した自己記録を5年ぶりに約10秒更新する快走を見せました。外国人選手が形成する第1集団から少し離れた日本人選手の第2集団をほぼ先導する内容で、今後の更なる進化を感じさせる走りでした。

花野選手も鈴木千晴選手が引っ張る集団の中でレースを進めてラストも粘り切り、自己記録を約6秒更新。目標としていた自己記録更新を見事に達成しました。

# 春のグランプリシリーズ開幕！ 自己新記録続出！

## 第33回 金栗記念 選抜陸上中長距離大会2025

熊本県・えがお健康スタジアム  
(熊本県民総合運動公園陸上競技場)

4/12 土



**田村** *Tamura*  
**紀薫**

女子1500m2組  
**4分20秒32**

**10着/18名(日本人6着)**  
**総合10位/37名(日本人6位)**

たくさんの応援をありがとうございました！今季2レース目となった今大会は、4分20秒をターゲットに走りました。ほぼ想定通りに現段階の力を出せたことと、改善点を実感できたことで、自己記録更新へ向けた自信を揺むことができました！

また5000mに出場した2人が自己記録を大幅更新する姿を間近で見られたことが何よりも嬉しく、競技者としても良い刺激を貰うことができました。私も微力ではありますが、駅伝でのチーム力に繋がるよう、これからも取り組んでいきたいと思っています。次回レースも応援をどうぞよろしくお願いいたします！





# 鈴木 *Suzuki* 千晴

女子5000m1組 **自己新記録!**

**15分49秒96**

7着/30名(日本人2着)

総合**15位/48名**(日本人10位)

今季2本目の5000mは最低でも15分台と自己ベストを目標に挑みました。今回は序盤から積極的にレースを作り、攻めの走りで、自身初の15分40秒台となりました。

課題であったトラックレースで約10秒更新することができた要因はフィジカル面での強化が大きかったと思います。めざすマラソンの目標からすると「通過点」となりますが、今回のレースで得られた自信を種に大きな花を咲かせられるよう日々、積み重ねたいと思います。年々ポジティブ変換の質が高まり、競技と向き合えることを強みに、31才まだまだこれから進化していきます!

応援いただきありがとうございます。ございました。



# 花野 *Hanano* 桃子

女子5000m1組 **自己新記録!**

**15分51秒36**

10着/30名(日本人5着)

総合**18位/48名**(日本人13位)

前回の3000mで良い感覚を感じる部分があったので、今回は15分台を目標に走りました。

レース展開が良かったこともあり、集団の中で最後まで粘って自己ベストを更新することができました。

付いて行くことで精一杯になっていたの、積極的なレースもできるように練習していき、次のGGN(ゴールデンゲームズ in のべおか)でも目標を達成できるように頑張ります。応援ありがとうございます。



## 応援ありがとうございました!

